

おだがいさま

ODAGAISAMA

125号
令和8年
8月1日発行

みんなが主役! 今日も笑顔で集まるよ
～櫛引地域の通いの場「猫の手」～



猫好きの仲間が立ち上げた
「猫の手」という名前には
誰でも気軽に「おいで」という
想いが込められています



輪になって楽しむ脳トレパズル



みんなで元気に健康体操

櫛引地域の「猫の手」は、週2回（火・金）櫛引老人福祉センターで、健康体操やレクリエーション、茶話会などを行う笑顔があふれる通いの場です。自分のペースで体を動かし、休憩時間には自然とおしゃべりが弾み、のびのびと自由に参加できる雰囲気に包まれています。“みんなが主役”をモットーに、みんなでやりたいことを考えながら活動しているのも猫の手の魅力です。こうした取り組みが評価され、2025年度に、地域でいきいきと活動する高齢

者を讃える、日本生命財団「生き生きシニア活動顕彰」を受賞しました。

代表の清和ふみ子さんの「地域へ恩返ししたい」という想いは日々の小さな気配りにもあらわれています。天気の良い日には「来てくれてありがとう」とお菓子を囲んで語り合うなど、また来なくなる工夫がされています。「初めての方も気軽に参加できる地域のあたたかさがある場所です。まず1回来てみてください。」と清和さんは笑顔で語ってくれました。

これからの鶴岡、これからの「おだがいさま」

おだがいさまのまちづくり計画2025がスタートします！

鶴岡市社会福祉協議会では、令和8年度からの5年間、地域の福祉をみんなで取り組むための道しるべとなる第4次鶴岡市地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画2025」をまとめました。この計画は、地域での座談会や福祉専門職による話し合い等でいただいたご意見をもとに、策定委員会での協議を重ねて形にしたものです。誰もが安心して暮らし続けられる鶴岡を目指して、計画に基づいた取り組みを進めていきますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



どんな内容の計画なの？

“おだがいさまのまちづくり”を基本理念に、誰かの困りごとを「自分のこと」として考え、みんなで支え合う地域福祉の推進を目的とした行動計画です。

「気づきあい」「つながりあい」「支えあい」「学びあい」の4つの視点を大切にしながら、地域の皆さまと一緒に取り組む活動を整理しています。



なぜ、新しい計画が必要なの？

近年、身寄りのない高齢の方の増加や、地域での孤立、ひきこもりなど、ひとつの相談窓口だけでは解決が難しい複雑な悩みごとが増えています。また、高齢者人口がピークを迎え現役世代が急減する「2040年問題」により、地域の担い手不足が深刻化すると見込まれています。こうした中で、公的な支援に頼るだけでなく、私たち一人ひとりがつながり、お互いに助け合える仕組みをつくり直すことが求められています。

気づきあい

活動目標

- ①包括的な相談支援体制づくり
- ②孤独・孤立をふせぐ体制づくり

孤立を防ぎ、住み慣れた地域で暮らすため、困りごとやSOSに気づきあい、ともに解決する連携ネットワークをつくりまします。

つながりあい

活動目標

- ③つどい交流しあう地域づくり
- ④だれもが参加し協働する地域づくり

一人ひとりが主人公としてつながりあう地域づくりを進めます。つどいの場の立ち上げや参加支援に取り組み、居場所づくりを推進します。

支えあい

活動目標

- ⑤権利擁護の体制強化
- ⑥福祉防災の向上と地域力の強化

認知症や障がいの有無などに関わらず安心して暮らせる地域を目指します。地域の多様な担い手とともに、災害時の支援体制づくりやボランティア活動に取り組みまします。

学びあい

活動目標

- ⑦住民主体の福祉活動の推進
- ⑧福祉のこころを育む地域づくり

地域への理解や人との関わりを大切にし、お互いに助けあう意識が育まれるよう、福祉を学びあう機会をつくりまします。

基本理念
おだがいさまの
まちづくり

「おだがいさまのまちづくり計画2025」は鶴岡市社協ホームページにも掲載しています。ぜひご覧ください！

令和7年度 事業報告と決算報告

第3期（令和3年度から令和7年度）の「地域福祉活動計画」、「発展・強化計画」、「事業経営計画」の最終年として、掲げた目標を計画的に進め、同時に、次期計画の策定に向け準備を進めました。

重点事業報告

1 地域福祉活動の推進

- ・地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画2020」に基づいた活動を進めるとともに、各地域が作成した「地域支え合いプラン」に基づく地域の福祉活動を支援しました。また、同計画の最終年度となることから、次期計画の策定作業を進めました。
- ・重層的支援体制整備事業（市委託）に取り組み、多機関と協働し相談支援を進めました。この事業と連動し、制度の狭間にある方や複雑なケースの課題に、地域福祉ワーカーが民生委員・児童委員や自治組織、相談支援機関と連携し対応しました。
- ・鶴岡市と災害ボランティアセンターに関わる協定を結び、災害時に迅速に支援が行えるよう連携を強化しました。また、全国で頻発する災害に備え、災害ボランティアセンターの運営訓練を継続実施しました。



小学校での福祉学習

2 生活支援事業

- ・判断能力に不安があり金銭管理などに支援が必要な方を対象とする日常生活自立支援事業を実施し、推進マニュアルに合わせた適正な事業推進に努め、利用者の状況に応じた支援を行いました。また、支援にあたる生活支援員の情報共有と研修を行う生活支援員会議を開催しました。
- ・鶴岡市成年後見センターの運営（市委託）について、権利擁護支援検討会議や後見人支援チーム会議のほか、相談対応や情報発信を進め、中核機関としての機能充実に努めました。



生活支援員会議

3 児童福祉事業

- ・櫛引地域内の保育園の統合により新たな体制での保育がスタートしました。園児一人ひとりの思いを丁寧に受け止めながら、安全で安心して過ごせる環境づくりに努めました。
- ・児童館の運営では、乳幼児から中高生までが安心して過ごせる居場所づくりと、交流の場の提供に努めました。各児童館ごとに、乳幼児クラブや小学生対象の行事、地域交流行事など、多様な体験活動を実施しました。



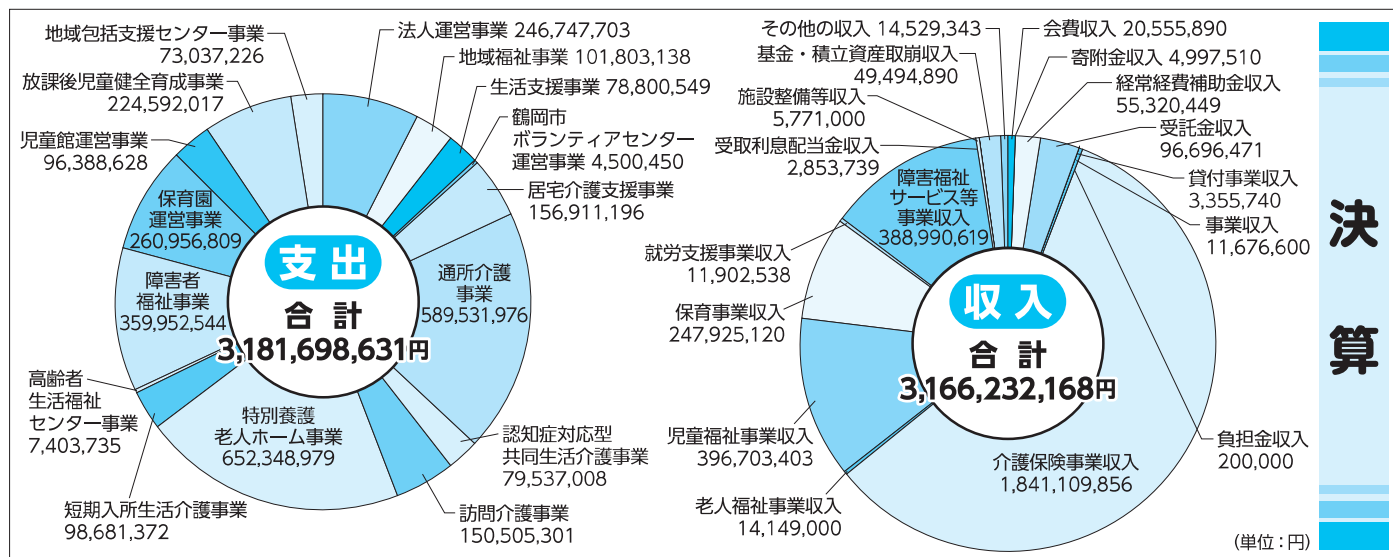
鶴岡南部児童館
自然体験活動サマーアドベンチャーin由良

4 高齢者福祉、障がい者福祉事業

- ・利用者の人権を守るため虐待防止や身体拘束適正化に関する会議や研修を行い、良質なサービス提供に努めました。また、自然災害や感染症に備えた事業継続計画（BCP）を見直し、安全な支援体制を強化しました。
- ・業務の効率化や情報共有の迅速化を図ることを目的に、ノートパソコンやタブレットを導入し、職員の負担軽減とサービスの質向上を進めました。

5 法人運営の充実・強化

- ・経営基盤の安定と強化を図り持続可能な事業展開を進めるため、プロジェクトチームを設置し、各事業の業務・財務分析による事業評価を基に経営改善を進めました。
- ・職員の処遇改善への取り組みとして、給与改善、各種手当等の見直しを行いました。また、階層別研修を計画的に実施し、法人全体での職員の資質の底上げを図りました。

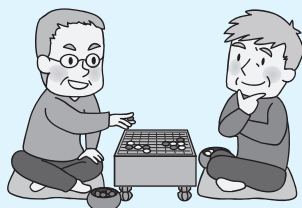


ボランティア募集のお知らせ

地域の中で、あなたの得意なことを活かしてみませんか。

囲碁・将棋対戦ボランティア

場所：市内の高齢者施設（鶴岡地域、櫛引地域）
内容：施設を利用している方の囲碁・将棋の相手
活動日時：施設と相談



こども食堂スタッフボランティア

場所：稲生公民館（鶴岡市稲生2丁目12）
内容：こども食堂で調理や片付け、こどもとの交流
活動日時：第1、第3土曜日（変更もあり）15：30～

市内のこども食堂の
 情報をご覧くださいませ



問合わせ先：鶴岡市ボランティアセンター 鶴岡市西新斎町14-26 TEL 0235-23-2970

令和8年度「ふれあい福祉相談」のご案内

●職員による相談

地域における生活の困りごとや失業、病気などにより生活の維持が困難な世帯の生計に関することなど、年齢や属性にかかわらず福祉全般にかかわる困りごとに職員が応じ、関係機関と連携しながら解決に向けて継続的に支援を行う相談窓口です。ご家族や関係者の方も相談可能ですので、まずはお気軽にご相談ください。

日時：月～金（祝日を除く）8：30～17：15

場所：各福祉センター

（問い合わせ先／ページ下段に記載）

●巡回弁護士相談（下半期10月～3月）

10月14日(水) 10:00～15:00	温海福祉センター
11月18日(水) 10:00～15:00	鶴岡福祉センター 地域福祉課
12月16日(水) 10:00～15:00	鶴岡福祉センター 地域福祉課
1月20日(水) 10:00～15:00	鶴岡福祉センター 地域福祉課
2月17日(水) 10:00～15:00	鶴岡福祉センター 地域福祉課
3月17日(水) 10:00～15:00	鶴岡福祉センター 地域福祉課

※対象：鶴岡市にお住まいの方

※相談料金は無料、相談時間はお一人30分です。

※相談は予約制となっております。

各日程の1か月前から予約を受け付けます。

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます
 （令和8年5月1日から令和8年6月30日までのご寄付を掲載しています）

★一般社会福祉事業へ

◎本部事務局へ

・株協同電子工業 様 30,000円

★児童福祉事業へ

・国際ソロプチミスト鶴岡 様 100,000円

★鶴岡市ボランティアセンター事業、他へ

・山形県退職公務員連盟鶴岡田川支部 様
 タオル 160枚

★デイサービスセンターなえづへ

・つるおかオレンジサポートの会 様
 認知症マップ 10個

★デイサービスセンターとようらへ

・岩ゆり会 様 ウェス1kg・手作りゴミ袋3kg

★グループホームはちもりへ

・佐々木 秀子 様 タオル25枚・花瓶1個・ゴミ箱1個

・小波渡婦人会 様 手作りゴミ袋400枚

・岩ゆり会 様 ウェス3kg・手作りゴミ袋900枚

★高齢者福祉センターおおやまへ

・奥山 加寿美 様 介護用品5点

・(有)佐藤クリーニング 様 介護用品5点

★櫛引地域の各保育園へ

・森林牧場代表 佐藤 久一 様 サッカーボール2個

★各学童保育所へ

・森林牧場代表 佐藤 久一 様 サッカーボール5個

★フードバンク・こども食堂へ

・田川地区労働者福祉協議会 様、

連合鶴岡田川地域協議会 様 食品25点

・佐藤 金二 様 玄米30kg

・NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワーク 様

お米5kg入り10袋

・つるおか森の時間 様 食品4点

★特別指定寄附（あつみ保育園へ）

・森林牧場代表 佐藤 久一 様 サッカーボール5個

おだがいさま

第125号

令和8年8月1日発行

発行部数 47,000部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

本部事務局 鶴岡市山王町13番36号

TEL 0235-26-7815

FAX 0235-26-7837

ホームページ <https://www.shk01.jp/>



鶴岡福祉センター

地域福祉課 TEL 26-9222

生活支援課 TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114



広報誌「おだがいさま」は、赤い羽根共同募金配分金と社協会費を財源とし、偶数月に全戸配布でお届けしています。